

ジフテリア・破傷風混合（二種混合）予防接種を受ける方へ

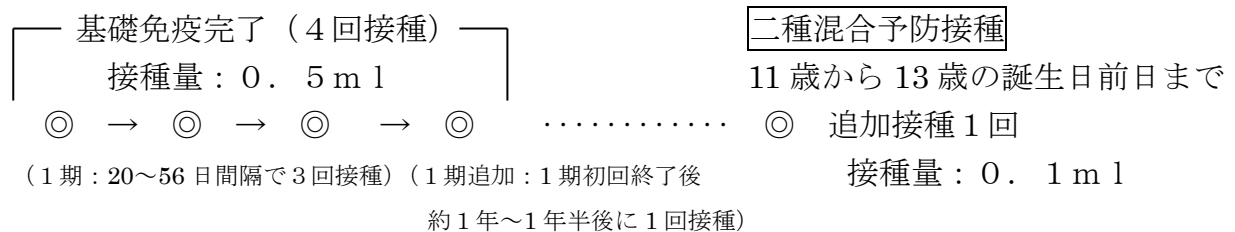
（予防接種の説明）

二種混合とは、ジフテリア、破傷風の予防接種のことです。

ジフテリア・破傷風予防接種は、乳幼児期の三種混合の1期（計4）を完了して、基礎免疫ができていない人に追加免疫の確保のために行うものです。

○基礎免疫が完了していないお子さんへ

1期が不完全の方は、今回1回だけ接種しても効果が望めない場合があります。免疫を獲得するには、今回の定期接種（無料1回）を行った後、任意接種（有料）で追加して接種を行う必要があります。（回数等は本人の状況によって異なります。）
予防接種実施医療機関・かかりつけ医師等にご相談ください。



（ジフテリアとは？）

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。現在では患者発生数は年間0が続いていますが、ジフテリアは感染しても10%程度の人に症状が出るだけで、残りの人は症状が出ない保菌者となり、その人を通じて感染することもあります。

感染は主にのどですが、鼻にも感染します。症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などで、偽膜と呼ばれる膜ができて窒息死することもあります。発病2～3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあるため注意が必要です。

（破傷風とは？）

破傷風菌はヒトからヒトへ感染するのではなく、土の中にいる菌が、傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために、筋肉の強直性けいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状が気付かれ、やがて全身の強直性けいれんを起こすようになり、治療が遅れると死に至ることもある病気です。患者の半数は本人や周りの方では気が付かない程度の軽い刺し傷が原因です。土中に菌がいるため、感染する機会は常にあります。

裏面もご覧ください

（二種混合ワクチンによる副反応について）

全身症状として発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、下痢、めまい、関節痛等を認めることがあります。いずれも一過性で2～3日中に消失します。局所症状として発赤、腫脹、疼痛、硬結等を認めることもあります。いずれも一過性で2～3日中に消失します。ただし、硬結は1～2週間残存することがあります。

また、重大な副反応として、まれにショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。

（接種前の注意事項）

1. **予診票**は、お子さんの**当日の体調**を知るための重要な資料です。医師は予診票をみて、接種ができるかを**判断**します。予診票は、**母子健康手帳**などを参考にしながら、保護者の方が**責任**をもって記入してください。
必ず、母子健康手帳を持参してください。
2. 体温は医療機関で測って予診票に記入してください。

（接種後の注意事項）

1. 接種を受けた当日はいつもの生活をして構いませんが、**激しい運動**はさけてください。
2. **入浴**は差し支えありませんが、接種部位を強くもんだり、こすったり、ひっかいたりしないでください。（**接種直後は、注射部位を軽く押さえる程度で結構です**）

（予防接種ができない人）

1. 体温が**37.5℃以上**ある人。
2. **重篤な急性疾患**にかかっている人。
3. 予防接種の接種液の成分によって、**ひどいアレルギー**を起こしたことがある人。
4. その他、予防接種を行うことが**不適当な状態**にある人。（予診医師が判断しますが、**特別な病気**などで**かかりつけ医師**がある場合は、その医師に**事前に**予防接種を受けることができるかお尋ねください。）

○問い合わせ：飯塚市 健幸保健課 感染症対策室

（電話）0948-22-0380 （FAX）0948-25-8994

*住民票のある市町村にお問い合わせください。